



1. ရဟန်းသံဃာတော်များ
သိမ်မြောက်စင်အောင် သိမ်နုတ်ပွဲ ကျင်းပစဉ်
2. ရဟန်းသံဃာတော်များ
သိမ်သုတိပွဲ ကျင်းပနေစဉ်
၁၃၇၉ - ခုနှစ် ၊ တန်ဆောင်မုန်းလပြည့်နေ့

日本上座仏教修道会

1. 比丘サンガによる
「シーマー（戒壇）の土地解除儀式」
2. 比丘サンガによる
「シーマー（戒壇）認定儀式」

ケサラ大長老をはじめ 10 名のミャンマー比丘サンガご来庵 ～比丘サンガ 40 日間のご活動（14 の儀式）～ 第 2 回

◎比丘サンガによる

シーマー（戒壇）の土地解除儀式



2017 年 10 月 28 日（土）～11 月 2 日（木）までの 7 日間、シーマー（戒壇）認定儀式が行われる前に、尊敬するバツダンタ・ウ・ケサラ大長老とバツダンタ・ウ・ニャヌッタラ大長老のお二人の大恩師をはじめ、10 名の比丘サンガによって、「Sīmā samūhanana kammavācā」を唱える「シーマー（戒壇）土地解除の儀式」がテーラワダ仏教の伝統に則して執り行われました。

「シーマー（戒壇）土地解除の儀式」の前日、この特別なお経を唱えるための準備として、土地の上に柵目の線を引きました。お経を唱える比丘サンガが、お互いに体が触れないよう、一人一人がその柵目に入り、しゃがんで唱えられるように準備しました。



1. 比丘サンガによる 「シーマー（戒壇）の土地解除儀式」

ニャヌッタラ大長老ご説法

これからシーマー（戒壇）を作ろうとする土地が、遠い遠い昔のブツダ（過去仏）の時代にシーマー（戒壇）だった可能性があります。もしそうであれば、その上に新しくシーマー（戒壇）を作ることはいけません。ですから、この土地に新しいシーマー（戒壇）を作る前に、古いシーマー（戒壇）の領域を解除する必要があります。このシーマー（戒壇）の領域を解除する儀式で唱えられる言葉が、お釈迦さまが説かれた「Sīmā samūhanana kammavācā」なのです。

比丘サンガは、浄心庵精舎の土地の上に一週間、雨が降っても、風が吹いても、日本の寒い気候の中でも、この「Sīmā samūhanana kammavācā」を、あらゆる方角に向かって唱えて、シーマー（戒壇）の領域を解除いたしました。

仏暦 2561 年経った現在も、戒・定・慧を備える比丘サンガによって、お釈迦さまご在世当時の尊い聖なるパリーのお言葉が一言一言大切に念じられました。

戒・定・慧を伴った純粋で淨らかなエネルギーは、浄心庵シーマー（戒壇）領域の中心部から、精舎全域に広がり、澄み渡る空気と大地の奥底深くまで浸透し、純粋な聖地へと解き放たれました。三宝の偉大な威力によって、辺りの空気は一変し、身も心も純粋に淨められ、淨大善心が生じ起こりました。

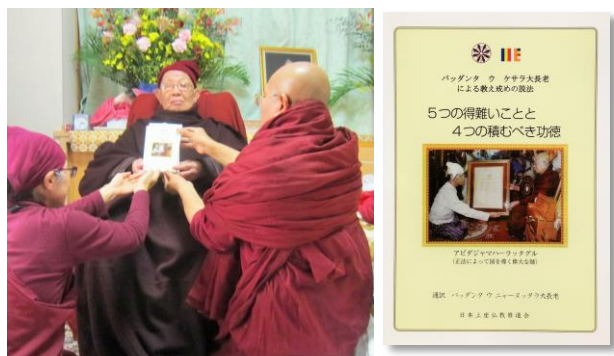
◎「シーマー（戒壇）認定儀式」に参加される
比丘サンガへ在日ミャンマー人信者が参拝



2017年10月29日(日)午前8時30分頃、浄心庵精舎において、シーマー（戒壇）認定儀式に参加される尊い比丘サンガへ参拝と食事供養をするために、在日ミャンマー人信者約15名が来庵されました。

比丘サンガより祝福を受けられ、積んだ功德を回向して大変喜びお帰りになりました。

◎新刊 ケサラ大長老による教え戒めの説法
「5つの得難いことと4つの積むべき功德」



2017年11月1日(水)午後3時、浄心庵精舎ケサラ大長老居室において「ケサラ大長老による教え戒めの説法『5つの得難いことと4つの積むべき功德』（ケサラ大長老著、ニャヌッタラ大長老翻訳）」の書籍が完成したことをご報告し、ケサラ大長老へご供養いたしました。この書籍は、2013年5月、ミャンマー国で、ケサラ大長老が、お釈迦さまの教えを実践する日本の人々のために教え戒められたご説法です。

浄心庵「シーマー（戒壇）認定儀式」と20年ぶりのケサラ大長老ご来庵記念として、発行日を2017年11月3日(金) 満月のウポサタの日とし、お二人の大長老の徳とご恩を念じて出版いたしました。

◎浄心庵「シーマー（戒壇）認定儀式」のために
ご来賓、関係者が次々とご来庵

～ 特別プロジェクトチームメンバー ～



2017年11月2日(木)、翌日11月3日(金・祝)の浄心庵「シーマー（戒壇）認定儀式」の準備のために、特別プロジェクトチームメンバーが、九州、四国、関西、北陸、関東、東北地方から来庵され、ケサラ大長老にご挨拶されました。

～元駐日ミャンマー国大使閣下ご家族～



2017年11月2日(木)午前9時、浄心庵精舎において、元駐日ミャンマー国大使 H.E.U Khin Maung Tin 閣下とご夫人の Daw Aye Aye Nyein 様、ご子息の Kyaw Zin Tun 様、そしてお世話人の方々が、ミャンマーから成田空港到着後、直接、来庵されました。ご多忙を極める中、H.E.U Khin Maung Tin 閣下は、「シーマー（戒壇）認定儀式」、「カティナ シーワラ ダーナのお祝い儀式」、そして自らが仮比丘出家をご子息と共に申し出られた「仮比丘出家儀式」のために、4年ぶりに来庵されました。当時は、浄心庵において、ご子息と部下の仮見習出家儀式を請願し、大長老のお導きにより執り行いました。閣下ご家族は、三宝とニャヌッタラ大長老を深く信じておられ、日本在住時から浄心庵にシーマー（戒壇）仏塔建立について功德を申し出ていらっしゃいました。

また、ミャンマーへご帰国後も、浄心庵のシーマー（戒壇）仏塔建立計画を成功・実現させるために、高額な浄財をお布施くださり、当会にとって大変徳とご恩のある方でございます。

～ 日本在住のミャンマー比丘サンガご来庵 ～



2017年11月2日(木)午後3時頃、浄心庵精舎において、日本在住のミャンマー比丘サンガが、日本上座仏教修道会 浄心庵「シーマー（戒壇）認定儀式」を成し遂げるために、当会の招聘に応じて来庵され11月5日(日)の「三大回向会の日」まで滞在されました。比丘サンガの皆さまは、浄心庵仏像が安置されている2階の法堂へ上がり三宝とお二人の大長老に尊敬合掌礼拝され、精舎内をご覧になりました。

その日の夕方、ミャンマー国より来庵された比丘サンガの皆様と挨拶を交わされ、翌日の打合せをされました。

◎比丘サンガによる 浄心庵「シーマー（戒壇）認定儀式」



2017年11月3日（金）満月のウポサタの日、午後2時30分、浄心庵精舎において、尊敬するバツダンタ・ウ・ケサラ大長老とバツダンタ・ウ・ニャヌッタラ大長老のお二人の大恩師を導師として、総勢18名の比丘サンガによって、テラワダ仏教の伝統に則して、浄心庵「シーマー（戒壇）認定儀式」が厳かに執り行われました。

「シーマー（戒壇）認定儀式」は、テラワダ仏教において最も重要とされる儀式です。その儀式が浄心庵精舎で行われることが、インターネットを通して在日ミャンマー人仏教徒の間に広まりました。そのため儀式当日には、三宝を信じる日本人、ミャンマー人の方々が全国から来庵し、参列者は予想をはるかに超え、総勢500名ほどになりました。



2. 比丘サンガによる 「シーマー（戒壇）認定儀式」

ニャヌッタラ大長老ご説法

「土地を解除する儀式」が完全に終わった後には、*Simā sammuti kammavācā* を唱えて、「シーマー（戒壇）を認定する儀式」を行います。

解除された土地の八つの方角（東、西、南、北、北東、南東、北西、南西）に顕れている土地の相（ニミッタ）を、ふさわしい石の相であると、比丘サンガが認め、全員が同意した後、お釈迦さまが説かれた言葉「*Simā sammuti kammavācā*」を唱えます。

このように、お釈迦さまが教えられたとおりに、比丘サンガがこの土地をシーマー（戒壇）と認定した後、幅12m、長さ20m、広さ240平方メートルの浄心庵シーマーの土地には、目に見える地面だけではなく、24万 *yojana*（長さの単位）の厚みがある、この地球・大地の最奥まで、このシーマー（戒壇）のエネルギーが存在します。

お釈迦さまが、説かれたように、比丘サンガが認めたシーマー（戒壇）のエネルギーは、時間的にも、空間的にも、限りなく存在するのです。

新 浄心庵戒壇 認定

Sāsana Sirī Dhara Sīmā

(お釈迦さまの教えが伝わるために品位を保つ浄心庵戒壇)



新しい浄心庵戒壇は、ケサラ大長老によって「Sāsana Sirī Dhara Sīmā (お釈迦さまの教えが伝わるために品位を保つ浄心庵戒壇)」と名付けられました。

～新 浄心庵シーマー (戒壇) の土地の上で回向式～



比丘サンガによって新しい浄心庵シーマー (戒壇) 認定儀式が成功に終わりました。この日を目指して2017年は、シーマー (戒壇) 認定儀式の成功を念じて、セヤードーのご指導の下、プロジェクトチームの皆さんと共に、最大限の力を発して、一年間、取り組んで参りました。その積んだすべての得難い功德を新浄心庵シーマー (戒壇) の土地の上で、尊い比丘サンガの前に回向し随喜しました。三宝を信じる大勢の人々が一丸となり喜び溢れました。

Sādhu Sādhu Sādhu



～新 浄心庵シーマー (戒壇) 認定儀式 閉式～



さらに、ニャーヌッタラ大長老の指揮で、パーリ言葉「Buddha sāsanaṃ ciraṃ tiṭṭhatu. (お釈迦さまの教えがなくならないで永く存在できますように)」を念じ、参加者全員が唱和し、次にミャンマーの言葉で念じ唱和され、輪廻の中でも稀にみるこの尊い儀式は閉式となりました。

浄大善心と共に、参列者の随喜の声がうねりとなって、新浄心庵シーマー (戒壇) の土地全域に響きわたり、震えるような歓喜の渦に包まれました。

Buddha sāsanaṃ ciraṃ tiṭṭhatu.
Sādhu Sādhu Sādhu

～シーマー認定後の浄らかな比丘サンガへお布施～



比丘サンガによって特別に認定されたシーマー (戒壇) は完全なる浄らかな聖地となります。儀式を無事に成し遂げられた聖なる戒壇から列をなして出てこられる比丘サンガのエネルギーは、特別に浄らかです。このような比丘サンガに相応しい布施をするとき特別高貴な功德を得られます。



会員有志をはじめ参加者全員は、この日、特別な功德を積む機会を待ちわびて、以前から準備されたお布施の品々をそれぞれ、ご供養いたしました。

シーマー（戒壇）内・外結界八つの方角に 結界石を埋める



シーマー（戒壇）認定儀式を終え、シーマー（戒壇）土地の八つの方角にふさわしい相（nimitta）として比丘サンガに認められた結界石を埋め、安置いたしました。

nimitta とは、シーマー（戒壇）の領域を顕す徴のことであり、内の結界はシーマー（戒壇）の領域を顕し、外の結界は、周囲の境界を顕します。

比丘サンガに見守られる中、日本上座仏教修道会をはじめとして、この儀式のために多大なる貢献、応援をしてくださった H.E.U Khin Maun Tin 閣下ご家族など 16 グループそれぞれが、重量のある結界石を、力と心をあわせて、北東、東、南東、南、南西、西、北西、北の方角順番に 16 カ所、掘られた穴に埋めていかれました。

外結界の四つ角には当会のロゴと記念の文字を金で掘り込んだ結界石が安置され、黄昏時には内と外それぞれ八つの方角に、計 16 本の結界石が無事に安置され、シーマー（戒壇）の結界がめでたく完成いたしました。



比丘サンガの戒・定・慧のエネルギーによって、特別な土地となったこの「Sāsana Sirī Dhara Simā（お釈迦さまの教えが伝わるために品位を保つ浄心庵戒壇）」が存在する限り、当会会員一同、関係する日本人、ミャンマー人の皆さまと、この日本の地に、善い結果をもたらします。

当会にとって、かつてない特別な得難い功德を積ませていただいた歴史的な日となりました。

最も重要な儀式であった崇高なる「シーマー（戒壇）認定儀式」が大成功に終わり、三宝をはじめ、ご尽力くださいましたケサラ大長老、ニャヌッタラ大長老をはじめとする比丘サンガに、そして日本上座仏教修道会の皆さま、諸々の関係者の皆さまのあたたかいご支援とご協力に、心から深く感謝申し上げます。そして皆さまの功德に心から、随喜申し上げます。

Sādhu Sādhu Sādhu



※「比丘サンガ 40 日間のご活動（14 の儀式）」についての報告は次号に引き続き掲載いたします。

（次号へ続く）